

シリーズ調査「われら信州人」⑩

「教育編」

第2回調査

報告書

(2006年10月調査)

I	調査の設計	1
II	結果の概要	4
III	今回のポイント	12
IV	単純集計	16
V	調査票	19



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

＜シリーズ調査「われら信州人」のテーマ＞

	I	II
	第1回 1994年11月調査	第6回 2000年8月調査
郷土・地域意識編	・住みやすさ	・住みやすさ
	・長野県の将来の見通し	・長野県の将来の見通し
	・愛着感	・愛着感
	・住み続けたいか	・住み続けたいか
	・県民として誇れるもの、自慢できるもの	・他県と比べて平均以上と思えること
	・長野県民の気質	・長野県民の気質・人生観
		・自分の人生で長野県に住みたい時期
		・「ふるさと」と思う場所
		・信州のシンボル
	第2回 1995年11・12月調査	第7回 2002年5・6月調査
生活編	・現在の生活の満足度	・現在の生活の満足度
	・自由な時間の過ごし方	・自由な時間の過ごし方
	・普段感じている不安や悩み	・普段感じている不安や悩み
	・隣近所との交際状況	・隣近所との交際状況
	・今関心を寄せているもの	・お祈りや信心
	・食生活において気をつかうこと	・食生活において気をつかうこと
	・作っている自家製の漬物	・「食」への関心、こだわり
	・洋服・衣類を選ぶのは誰	・県外への外出
・情報・通信機器の中で現在家庭にあるものまた今後購入したいもの	・情報・通信機器の中で現在家庭にあるものまた今後購入したいもの	
	第3回 1997年3月調査	第8回 2004年4月調査
自然と環境編	・信州の自然について	・季節の好き嫌い
	・自然と人間の関係	・自然とのふれあい体験、野外活動
	・信州の自然は守られているか	・ダム、リゾート開発の是非
	・信州の自然景観について	・近隣からの環境被害
	・10年前と比べてどうか	・自然・生活環境で心配なこと
	・美観を損ねるもの	・省エネルギーの心がけ
	・環境保全のために日頃心がけていること	・自然・環境破壊をくいとめるものは何
・自然・環境破壊をくいとめるものは何	・メディアとの接触度合い	
		・内閣、政党、県政の評価
	第4回 1997年12月調査	第9回 2005年10月調査
家族編	・家族と話をする頻度	・家族と話をする頻度
	・結婚観	・結婚観
	・家庭の役割	・家族・家庭の役割
	・主導権を握るのは誰	・主導権を握るのは誰
	・家庭生活に必要なもの	・老後の親と子
	・子供に期待すること	・家庭の周辺 10年後は？
	・望ましい家庭生活	・子育て環境
	・青少年の犯罪の原因	・親と子・父と母
	・現在の家庭生活の満足度	・現在の家庭生活の満足度
	・老後の不安	・老後の不安
・親戚づきあいの程度		
	第5回 1999年3月調査	
教育編	・子供への接し方	
	・一芸、推薦入学の是非	
	・習い事について	
	・「長野県は教育県」と思うか	
	・学校の完全週五日制について	
	・期待する小学校の先生の資質	
	・いじめにあった子供の相談相手は	
	・学歴の受けとめ	
	・中・高一貫教育への期待度	
	・日本の教育の全体的な方向	
・学習塾の必要性		

I 調査の設計

◆ 調査の目的

長野県世論調査協会が長期シリーズで取りくむ「われら信州人」調査は、郷土に暮らす人々の行動や意識、さらには社会・自然観などを幅広く探ることをねらいに、ほぼ1年1テーマで「生活」「自然と環境」「家族」「教育」の5つの分野を循環させる方式で、1994年の「郷土・地域意識」編を皮切りに始まり、現在は2巡目に入っている。

今回の「教育編パートⅡ」は、1999年の前回調査から7年ぶり、通算で第10回の実施となる。

60年を経過した戦後の教育の枠組みは、政治や経済、社会の変容をうけて厳しい問い直しを迫られている。いじめ・不登校、受験のしわ寄せの是正や学力の向上などの内容面にとどまらず、教育基本法の見直し、教員免許の更新制、競争や経営論理の導入などの制度面に及ぶ。

教育をめぐる論議に一定の距離をおき、あらためて教育を考えることを主眼に、日ごろの家庭の親子の結びつき、教育現場に対する期待感や参加、社会における教育の役割などを掘り下げ、教育改善と今後の方向を模索する調査内容とする。

調査の全般にわたり、飽戸弘・東洋英和女学院大学教授（学長）と、坂井博通・埼玉県立大学教授の監修を初回から仰いでいる。

◆ 調査の設計

▽調査対象	長野県内に住む20歳以上の男女1000人
▽抽出方法	層化三段無作為抽出法。対象の各市町村の選挙人名簿から抽出
▽調査時期	2006年10月10日～23日
▽調査方法	個別面接聞き取り
▽調査地点	19市10町6村の計68地点 (1地点15人が64地点　1地点10人が4地点)

◆ 回収結果

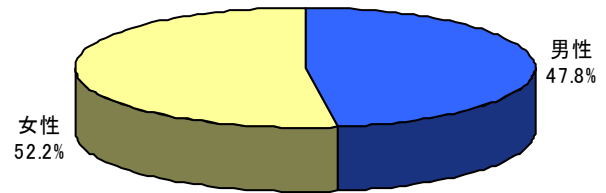
▽有効回答	667人（回収率66.7%）　男性319人　女性348人
-------	------------------------------

<注>報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

回答サンプルの内訳

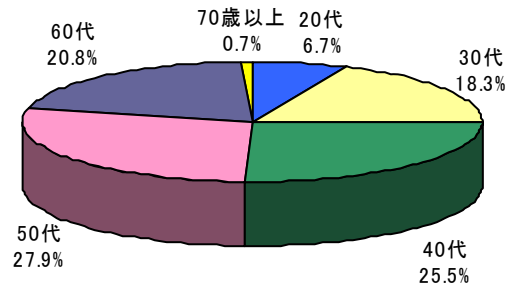
【性別】

男性	319	47.8%	前回	50.0%
女性	348	52.2%		50.0%



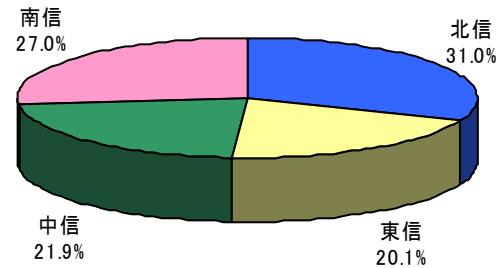
【年代】

20代	45	6.7%	前回	14.0%
30代	122	18.3%		13.6%
40代	170	25.5%		25.8%
50代	186	27.9%		24.4%
60代	139	20.8%		22.3%
70歳以上	5	0.7%		0.0%



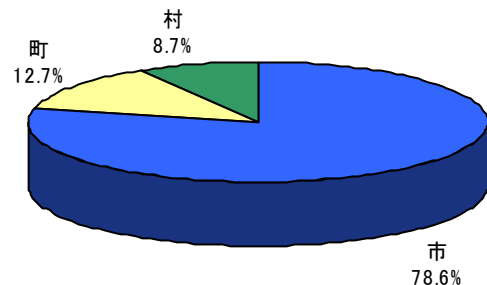
【居住地域】

北信	207	31.0%	前回	29.8%
東信	134	20.1%		23.8%
中信	146	21.9%		19.4%
南信	180	27.0%		26.9%



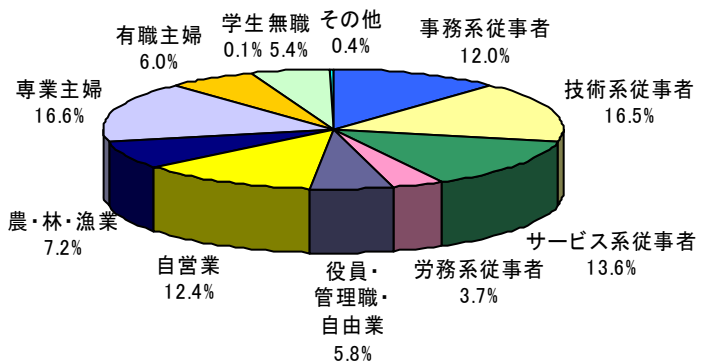
【市町村別】

市	524	78.6%	前回	62.0%
町	85	12.7%		24.7%
村	58	8.7%		13.2%



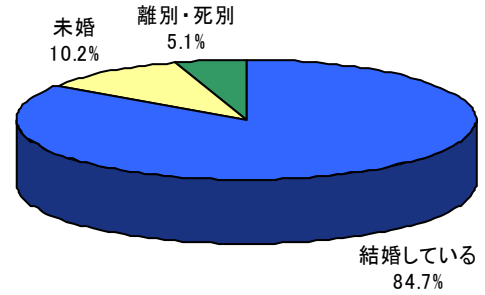
【職業】

事務系従事者	80	12.0%	前回	15.4%
技術系従事者	110	16.5%		12.4%
サービス系従事者	91	13.6%		8.5%
労務系従事者	25	3.7%		9.7%
役員・管理職・自由業	39	5.8%		5.2%
自営業	83	12.4%		10.2%
農・林・漁業	48	7.2%		7.1%
専業主婦	111	16.6%		13.0%
有職主婦	40	6.0%		9.7%
学生	1	0.1%		1.6%
無職	36	5.4%		6.9%
その他	3	0.4%		-



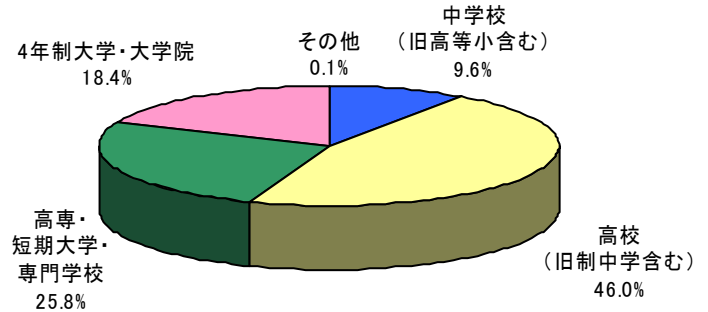
【結婚の有無】

結婚している	565	84.7%
未婚	68	10.2%
離別・死別	34	5.1%



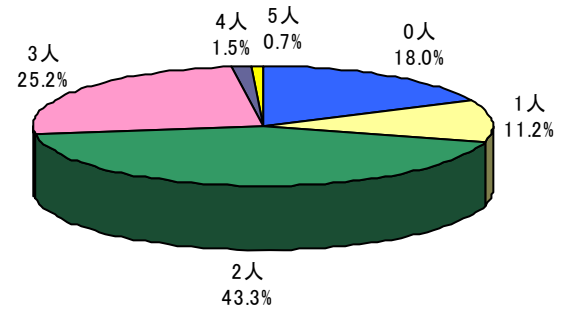
【最終学歴】

中学校(旧高等小含む)	64	9.6%	前回	14.1%
高校(旧制中学含む)	307	46.0%		52.2%
高専・短期大学・専門学校	172	25.8%		19.0%
4年制大学・大学院	123	18.4%		14.5%
その他	1	0.1%		-



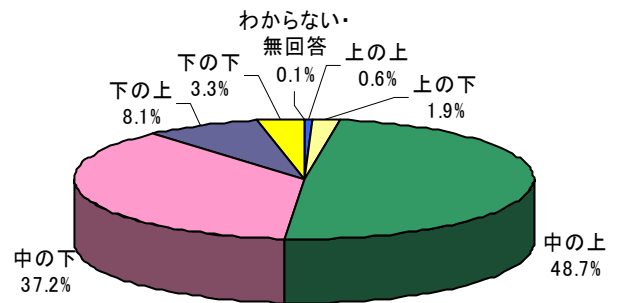
【子どもの人数】

0人	120	18.0%
1人	75	11.2%
2人	289	43.3%
3人	168	25.2%
4人	10	1.5%
5人	5	0.7%



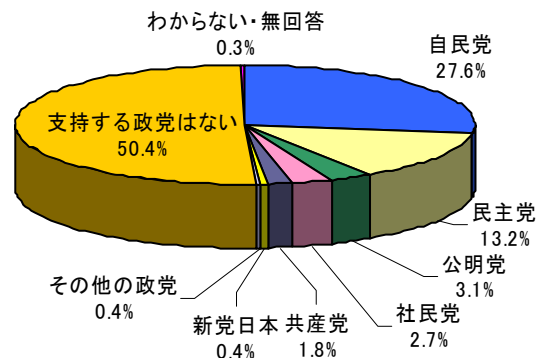
【暮らし向き】

上の上	4	0.6%
上の下	13	1.9%
中の上	325	48.7%
中の下	248	37.2%
下の上	54	8.1%
下の下	22	3.3%
わからない・無回答	1	0.1%



【政党支持】

自民党	184	27.6%
民主党	88	13.2%
公明党	21	3.1%
社民党	18	2.7%
共産党	12	1.8%
新党日本	3	0.4%
国民新党	0	-
その他の政党	3	0.4%
支持する政党はない	336	50.4%
わからない・無回答	2	0.3%



II 結果の概要

教育の現状と自分のかかわり

教育への関心と参加

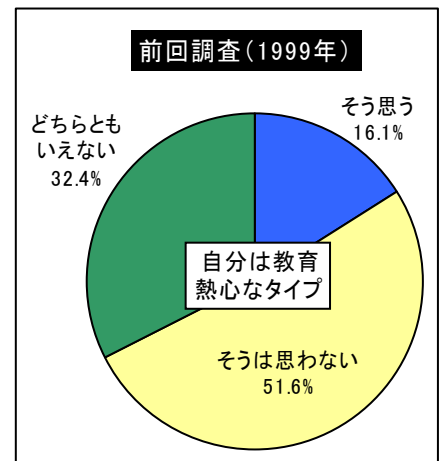
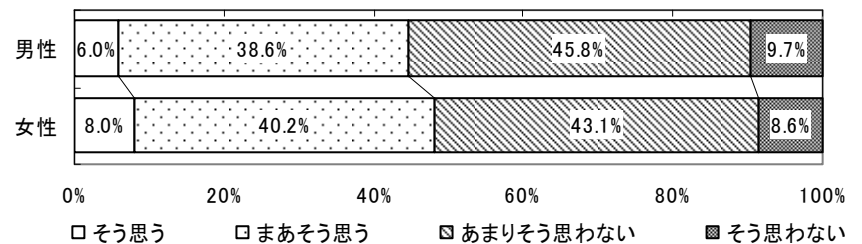
自分は教育熱心か 肯定派は半数をやや下回る

肯定的なのは全体で46%、否定的な反応が54%の過半数となった。1999年実施の「教育編I」で「そうは思わない」が全体で52%とほぼ同じレベルの受けとめ。「そう思う」が16%とかなり低かったが、今回と違って回答選択肢として明示した「どちらともいえない」が32%にのぼった。

女性の肯定がやや上回り、年代層では30～50代の子育て世代は「そう思う」が半数に届かない半面、60代では58%の高さを示す（年代層別の70歳以上は、回収サンプルが少数のため報告書ではふれない）。

教育熱心なタイプは、受験のための塾通いや教育投資といった個別の取りくみは高めになっているが、教育の方向性や実社会での学歴評価などの“教育観”の面では、熱心でないタイプと比べて、ほとんど認識は変わらない。

◆男女別では

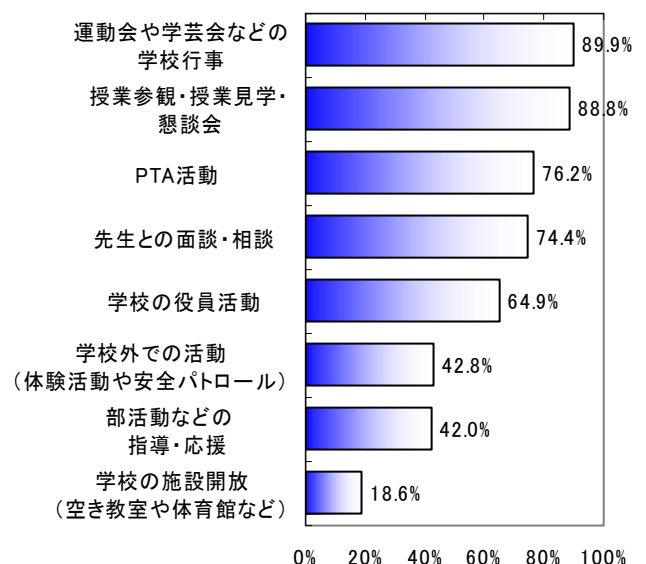


学校活動への参加

「運動会など行事」と「授業参観」が双壁

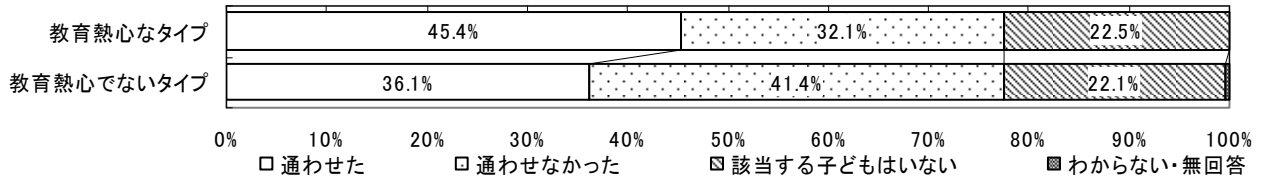
「運動会や学芸会などの学校行事」と「授業参観」が圧倒的に多く「PTA活動」と「先生との面談・相談」も高率で上位に挙げられた。

総体的に女性の参加度合いが高めで「先生との面談・相談」「役員活動」では男性を30ポイントも引き離す。

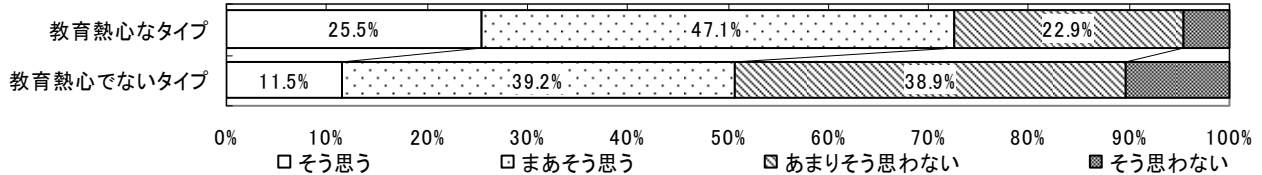


自分は教育熱心かどうかのタイプ別でみると

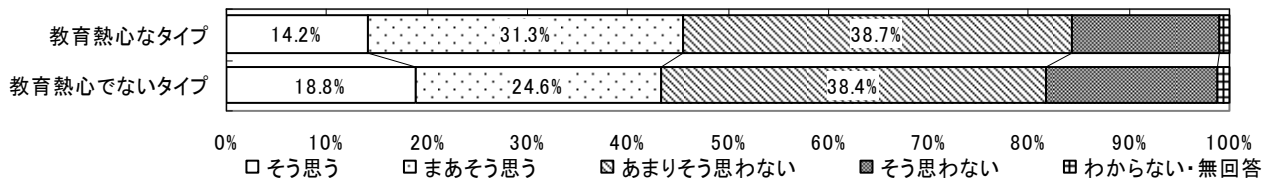
◆高校受験のため、塾などに通わせた



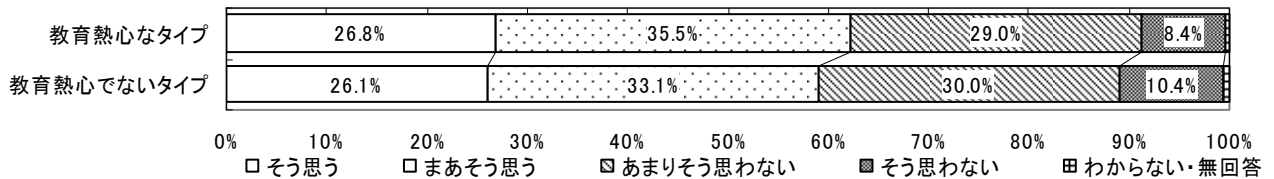
◆子どもの教育には、生活を切り詰めても金をかけるべき



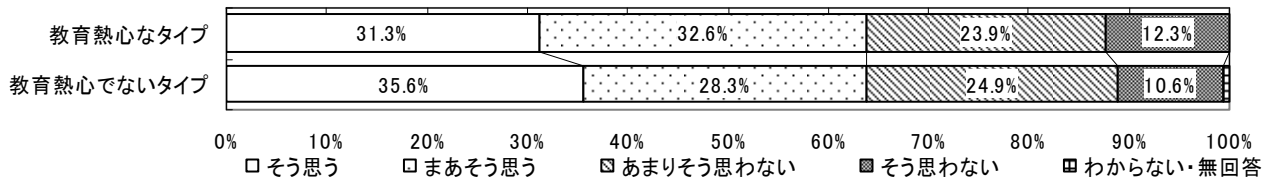
◆学校運営には経営・管理の発想が必要



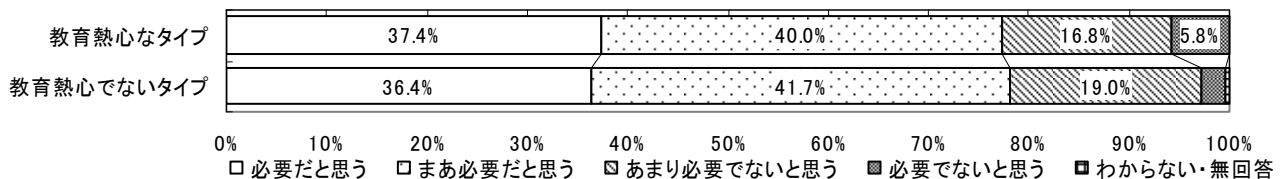
◆実社会での出世・収入に出身校が大きな影響



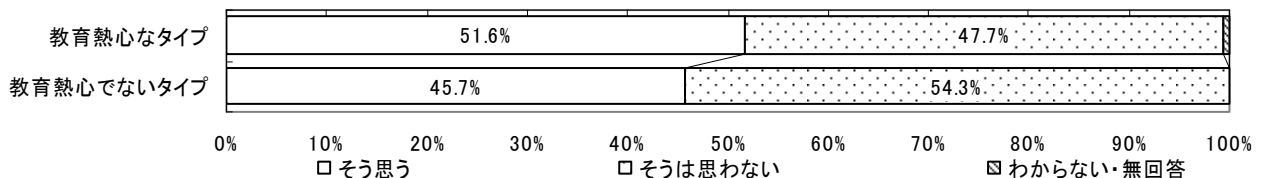
◆家庭の経済力によって、子どもの学力に影響



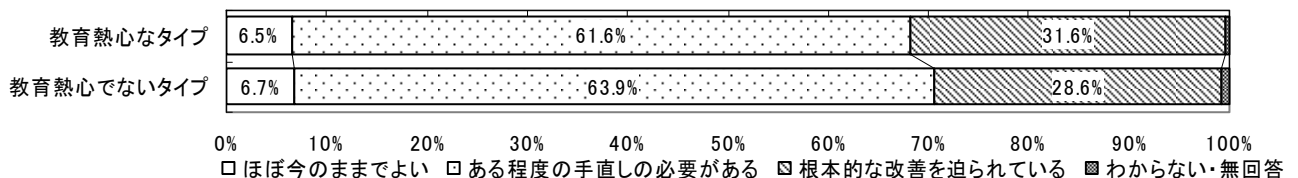
◆教育基本法の見直し



◆競争を取り入れて個々の才能や学力に応じた指導が必要



◆日本の教育の全体的な方向について



教育と人生観

「家庭の経済力で学力に影響」64%肯定的

◆ 「女性は結婚しても、職業を持ち社会に出るのが基本だと思う」

肯定的な受けとめが60%を占めるなかで、女性64%—男性56%の開きがめだち、年代層では50代で積極的な感度だけで30%を超す。

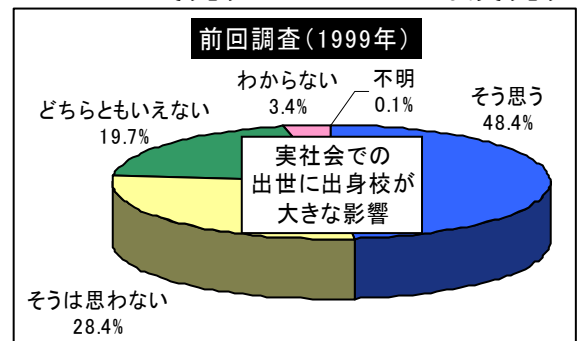
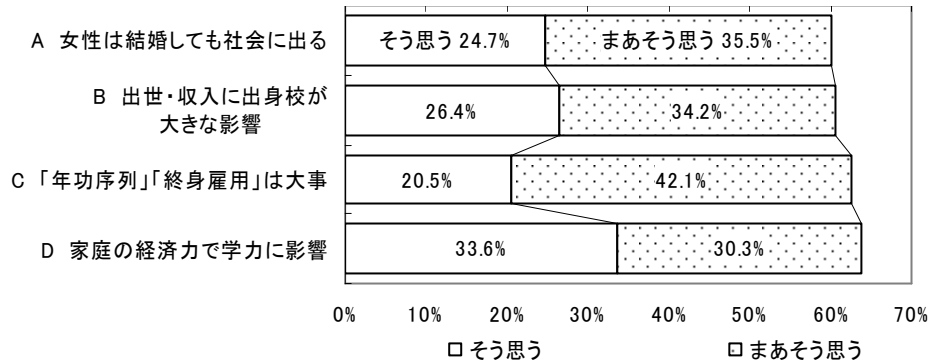
職業層では有職主婦で「そう思う」総体で75%の高率となり、事務系従事者でも70%を占める。

◆ 「実社会での出世・収入に出身校が大きな影響を与えていると思う」

60%が肯定的な受けとめで、男性の方がやや高め。20代で積極的な肯定が36%と最も高いが、30代以降の年代間の開きはあまり大きくはない。

積極的な肯定は、職業層で労務系従事者の40%を最高に管理職層、農林業で高い。

学歴では中学校が40%に迫り最も高く、4年制大学・大学院は20%余と低く、開きが際立つ。

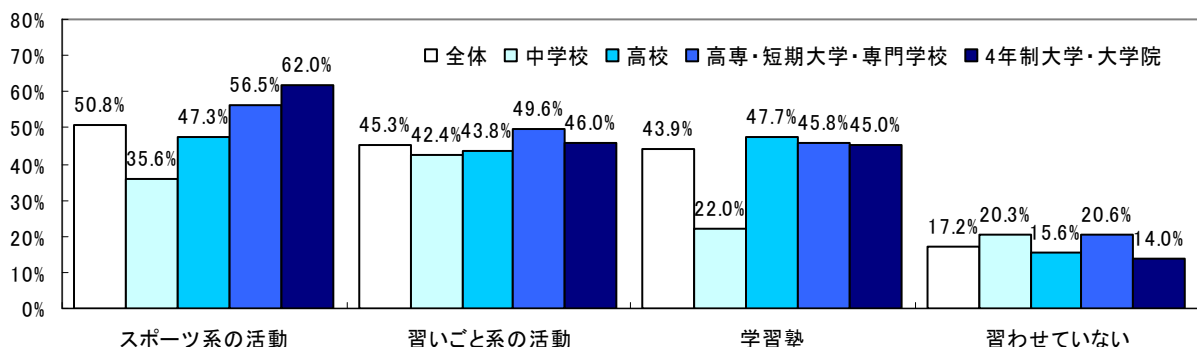


家庭での取りくみ

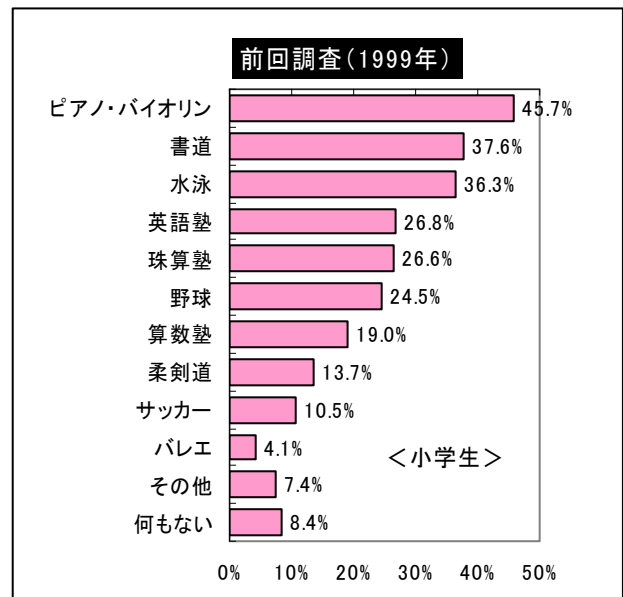
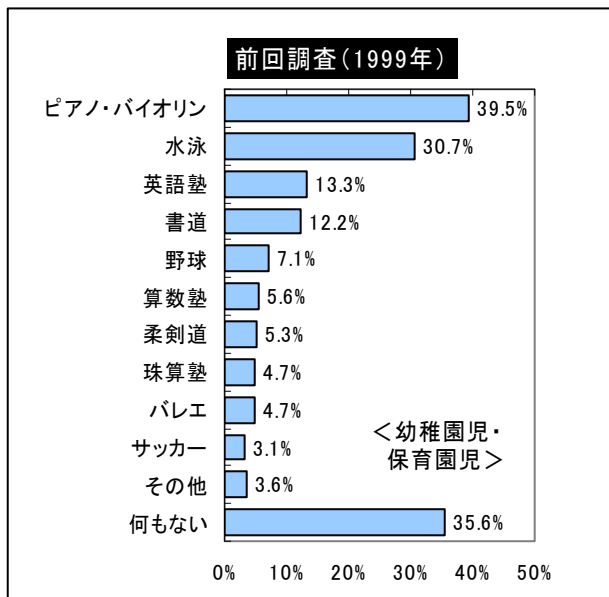
子どもの習いごと

トップ「スポ系」が半数 「習わせず」20%割る

「スポーツ系」が最も多く半数に達し「習いごと系」と「学習塾」がほぼ同じ水準で続く。「習わせない」が17%。北信のみが「スポーツ系」と「学習塾」の度合いが低く「習わない」の方がやや上回る。



職業層では、サラリーマン層で「習わせず」が高めのなかで、事務系従事者のみは極端に低くなっており、その分「スポーツ系」「習いごと系」「学習塾」とも総体的に高め。管理職層も「スポーツ系」で突出する高さ。「学習塾」は有職主婦で60%近くになり最も高い。学歴が高まるほどに「スポーツ系」が伸び、4年制大学・大学院では60%を超す。

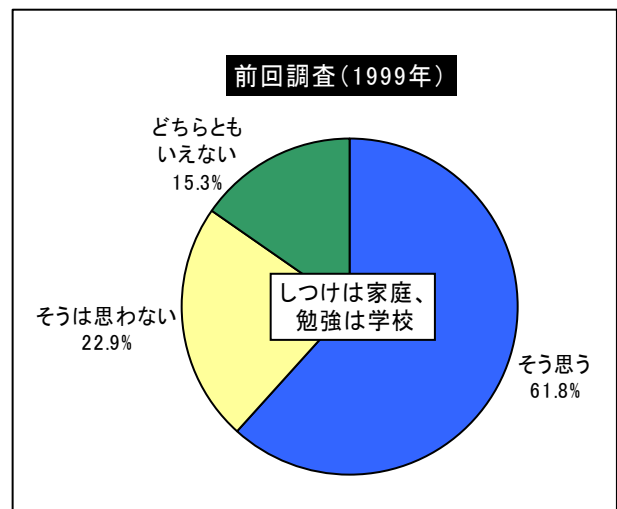
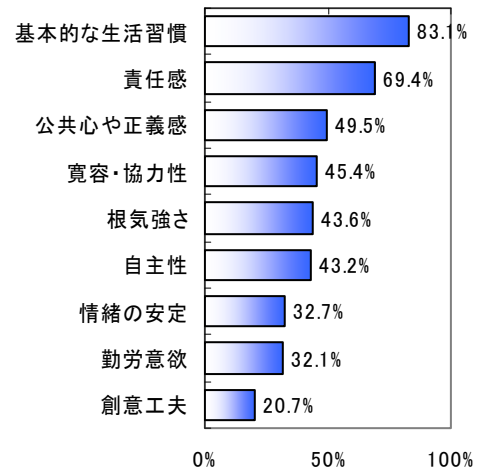


家庭でのしつけ 「生活習慣」に最も重き 続く「責任感」「公共心」

「基本的な生活習慣」が飛び抜けて高く、2番目に「責任感」が続き「公共心・正義感」「寛容・協力性」「根気強さ」が上位に並ぶ。

総じて女性の方が高めになっており、若年・中堅層で「生活習慣」が重視され、高齢層では「責任感」が高めになる。

地域的に市町部よりも村部で「生活習慣」「責任感」に重きを置く傾向がみられる。



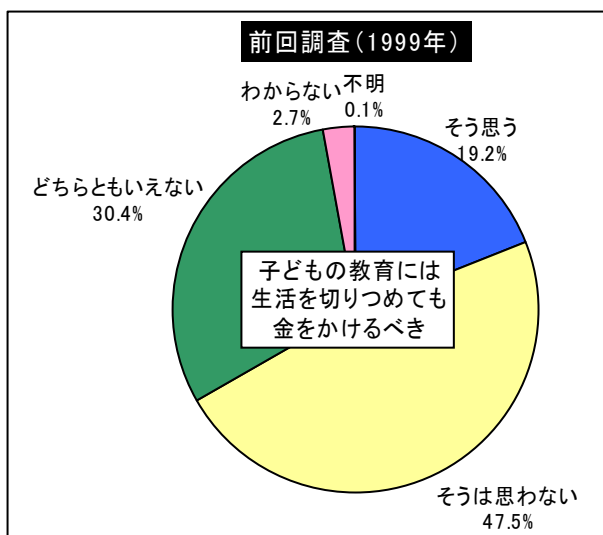
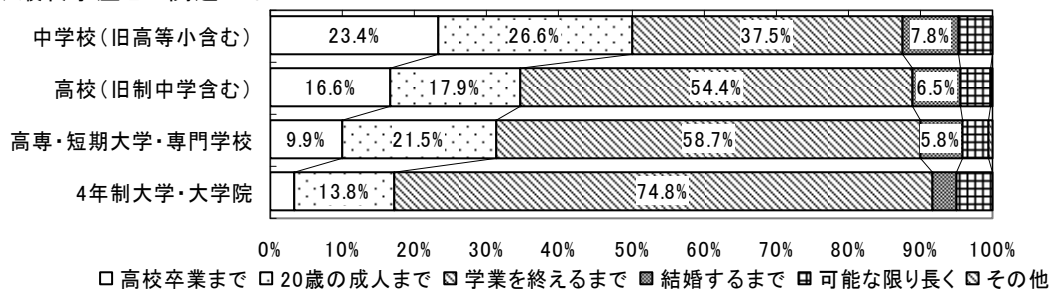
親としての教育負担

最多「学業終わるまで」60%近く

「学業を終えるまで」が最も多く58%。大きく差が開いて「成人まで」「高校卒業まで」の順で続く。学業終了までとするのは女性で60%を超え、40～50代でも平均値を上回る。「成人まで」は男性で4人に1人を占め、若い年代層で高めになっている。

最終学歴が高くなるほどに「学業を終えるまで」の割合が高くなり、高校54%－4年制大学75%の開きが際立つ。対照的に「高校卒業まで」では中学、高校で高めになる。

◆最終学歴との関連では



今の義務教育の受けとめ

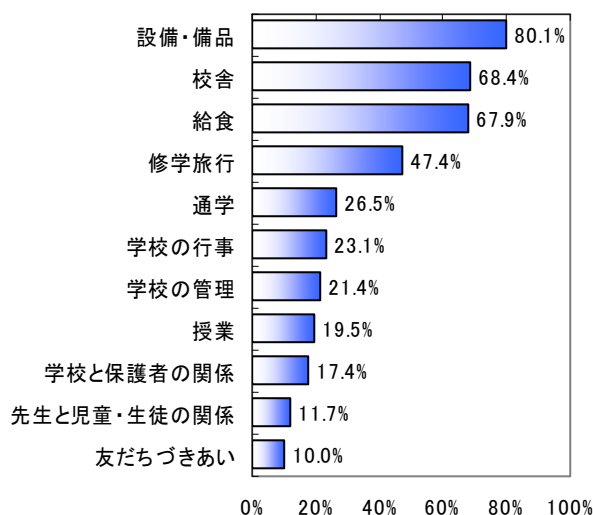
最近の学校の良くなった印象

ベスト3「設備」「校舎」「給食」

「設備・備品」が飛び抜けてトップ。次いで「校舎」と「給食」がほぼ同率で、全体として“モノ”の面が上位に挙げられた。

対照的に“ヒト”の面では「友だちづきあい」は最下位に置かれ「学校と保護者の関係」や「先生と児童・生徒との関係」も振るわない。

全般的に女性の評価が高く、上位の項目は高い年代層で「良くなった」との受けとめが多い。地域的には市・町部に比べて村部の方の評価が良い。



義務教育で育んでほしいこと

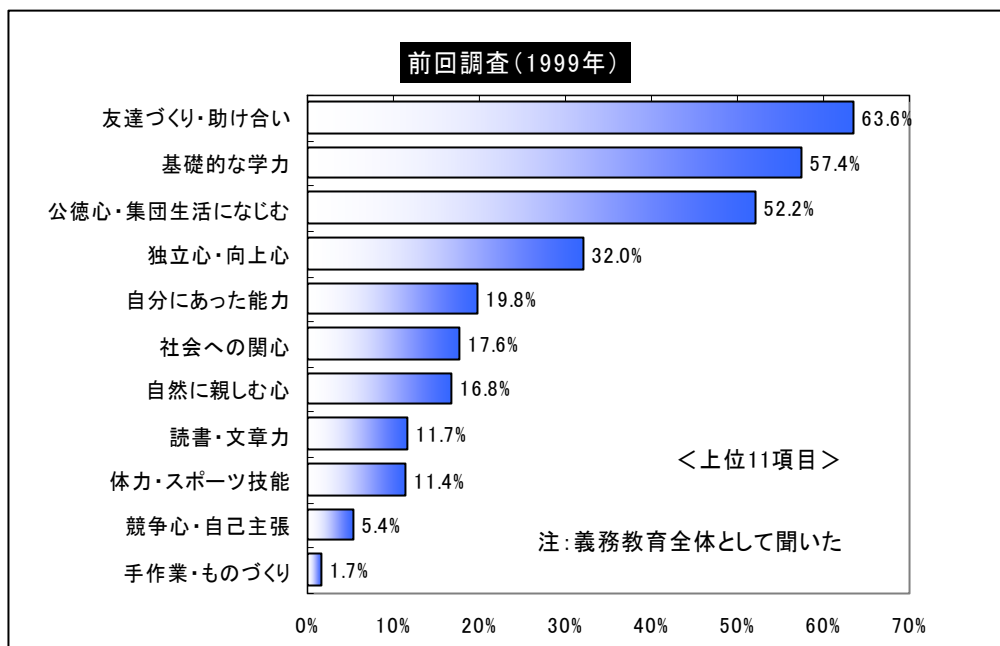
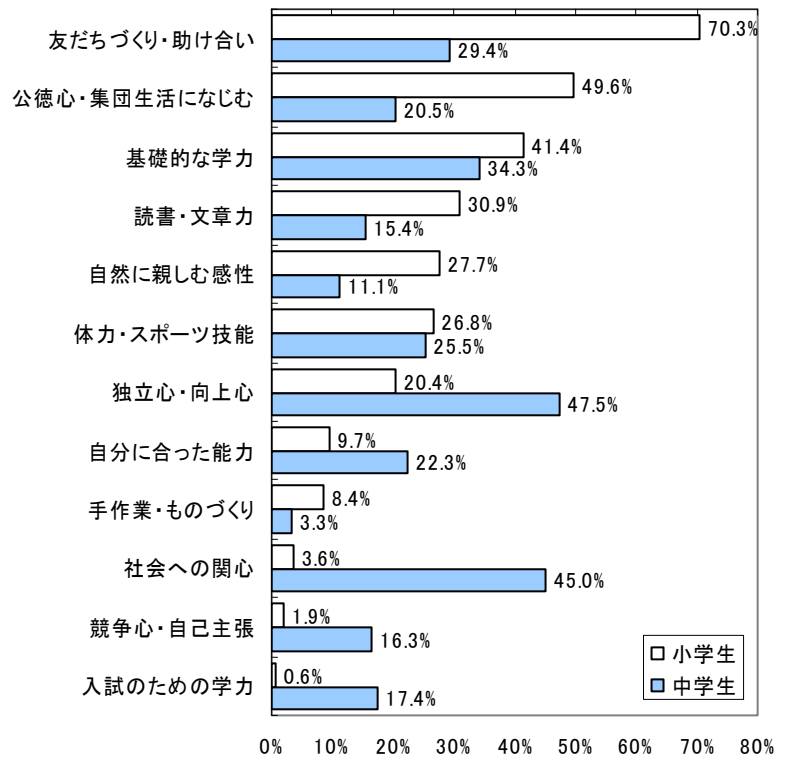
◆小学生～「友だちづくり」筆頭に「公德心」「基礎学力」

◆中学生～「独立心」トップ 続く「社会関心」「基礎学力」

小学生には「友だちづくり・助け合い」が断然多く「公德心・集団生活になじむ」と「基礎的な学力」が上位。40代までの若い年代層で上位の項目の期待感が高め。男女にめだつた違いはみられないが「基礎学力」では女性の期待感が強めに出ている。

中学生については「独立心・向上心」がトップで「社会への関心」が僅差で続き「基礎学力」「友だちづくり」「体力・スポーツ技能」が上位に並ぶ。

「独立心」や「社会関心」「友だちづくり」は女性で高め。「基礎学力」には男性の期待感が強めに出ている。年代層では「独立心」に40～50代、「社会関心」は20～30代と、軸足がやや異なる。



進学体制と受験の備え

塾・予備校 「通わせた」高校進学に52% 大学は33%

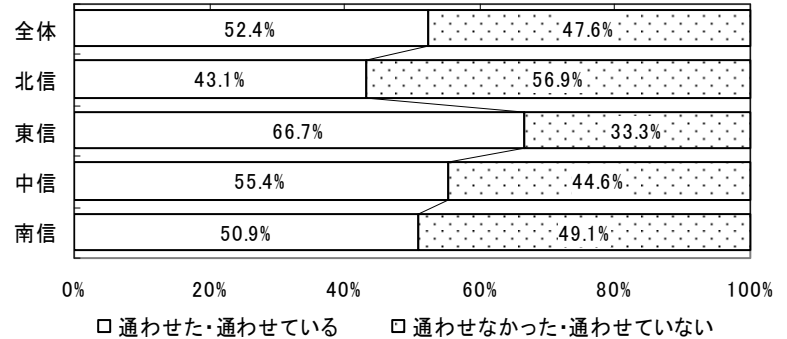
高校受験のための塾・予備校通い（該当の子どもがいない層を除外して算定）が52%、利用しないは48%と接近。利用は東信で67%と最も多く、北信では43%、南信で50%余にとどまる。市部で高め、町村部では低めといった違いもみられる。

サラリーマン層で比較的高めの傾向があり、有職主婦でも高く、専業主婦との開きもめだつ。

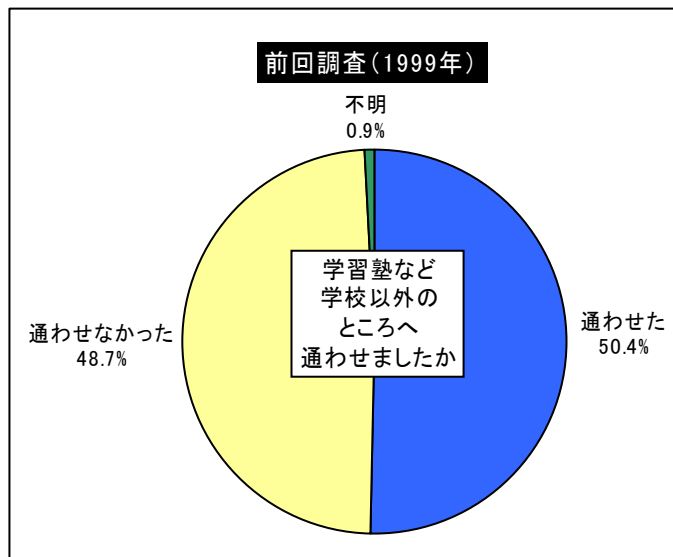
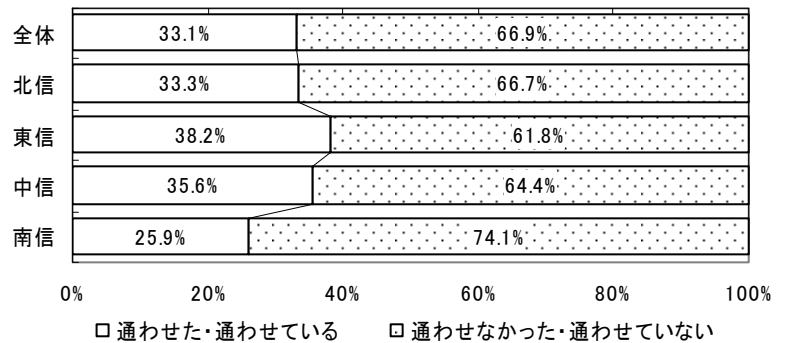
大学進学のためでは利用が33%にとどまり、利用しないがその2倍の67%。職業層で管理職層や無職層で高まる。

南信の利用が26%に落ち込み、最終学歴が高まるほどに増えていき、暮らし向きの良さにも連動する。

◆高校受験のため～地域別では



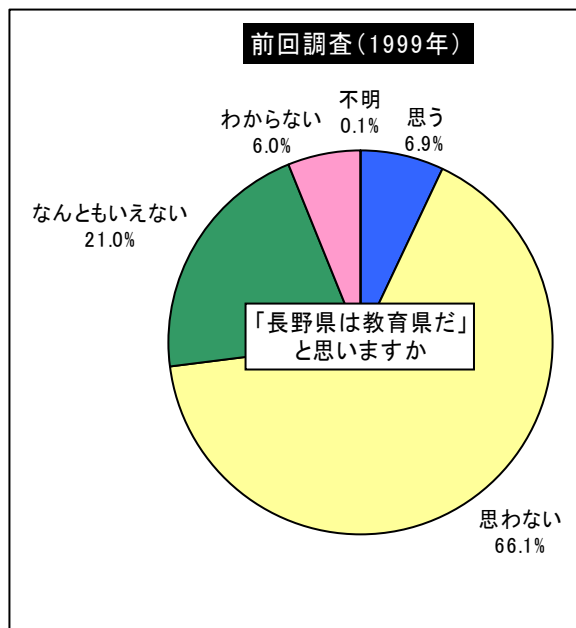
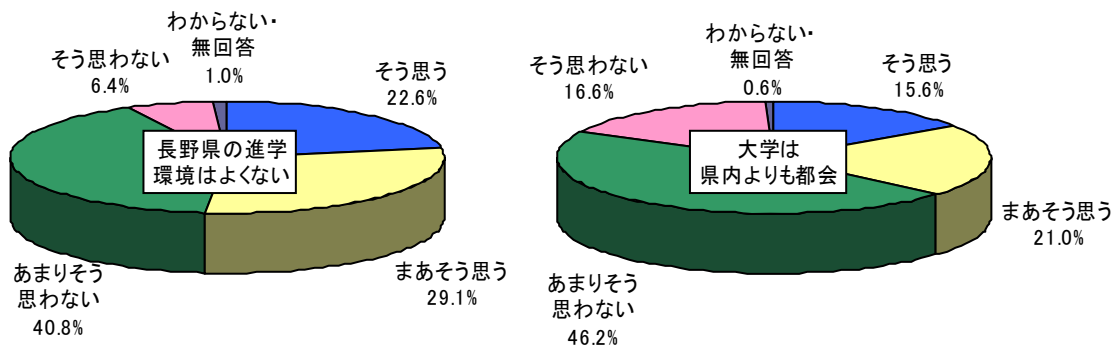
◆大学受験のため～地域別では



長野県の進学環境 「よくない」半数超える 「学ぶのは都会がよい」36%

「長野県での大学進学のための条件はよくない」との見方に肯定的な受けとめは、総体として半数を超え「そうは思わない」も47%と伯仲した。30代以下で「そう思う」が半数に届かず、40代以上では半数を超える“亀裂”が生じた。東信で60%を超えて肯定的だが、北信、南信では半数を割り込むといった対照がはっきり。

「大学で学ぶのは、県内よりも都会の方がよい」には、肯定的な受けとめが36%、否定的な受けとめは60%を超える。50代で「そう思う」が43%と最も高い半面、30代では30%に届かない。

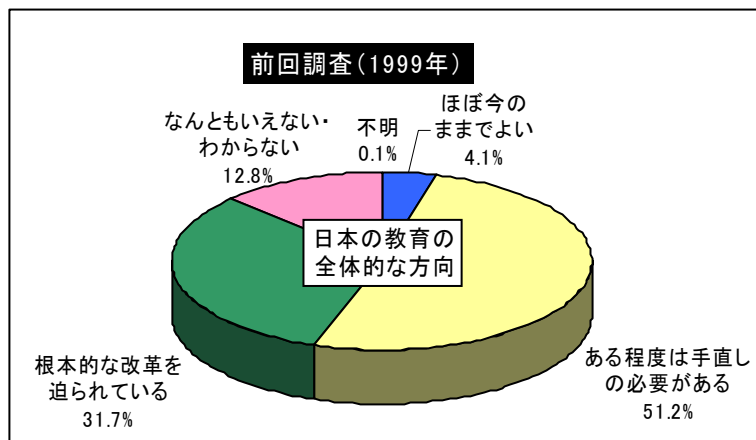
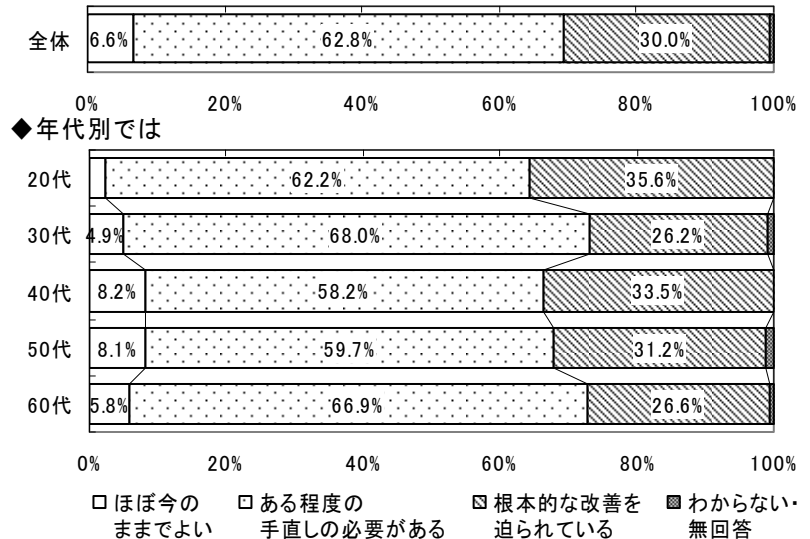


Ⅲ 今回のポイント 今後の教育のあり方

日本の教育の方向 「根本的な改善が迫られている」30%

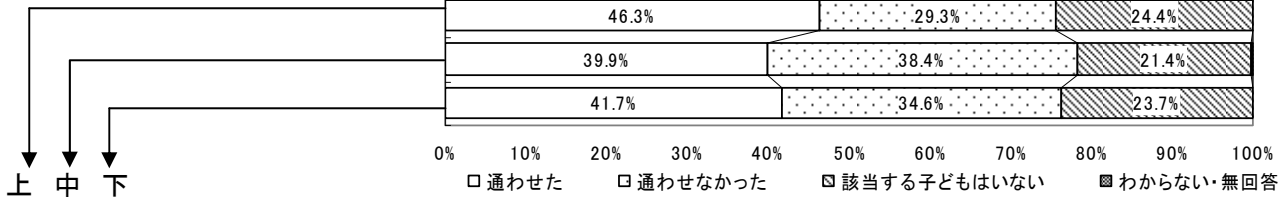
「根本的な改善を迫られている」が30%で、1999年の前回調査（32%）とほとんど変わらず「ほぼ今のままでよい」も6%余で前回（4%）並み。「ある程度の手直しの必要がある」が63%と最も多く、前回（51%）よりも大幅に増えたが、これは前回調査で選択肢として明示した「わからない」（13%）がそっくり加わったからだ。

「根本的な改善」は20代で36%と最も高く40～50代でも平均値を上回る。職業層では事務系従事者で最高の38%、技術系従事者、自営業、農林業でも高め。学歴では、短期大学・専門学校で高くなっている。

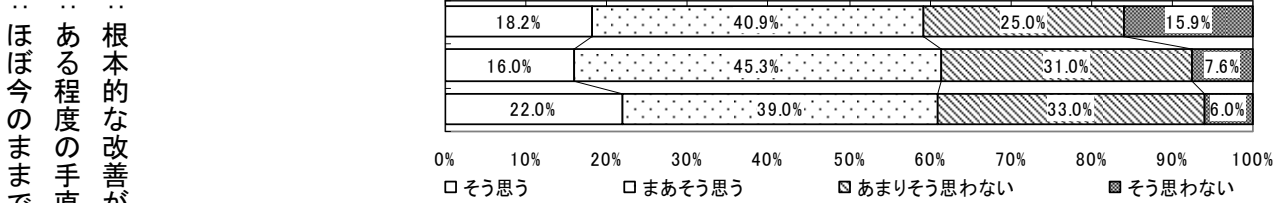


日本の教育の方向の違いでみると

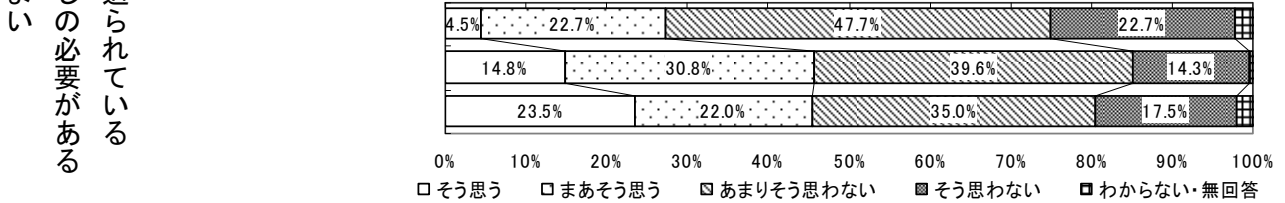
◆高校受験のため、塾などに通わせた



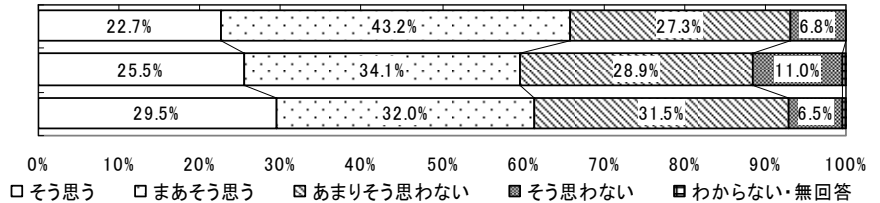
◆子どもの教育には、親として生活を切り詰めても金をかけるべき



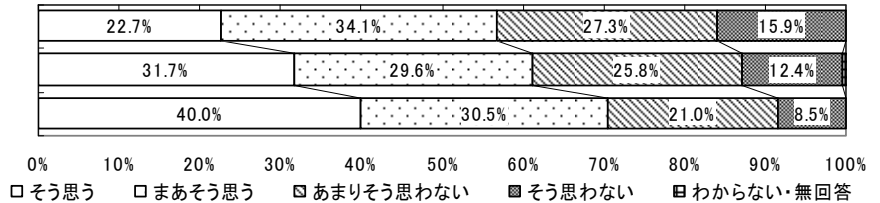
◆学校運営にはもっと経営・管理の発想が必要だ



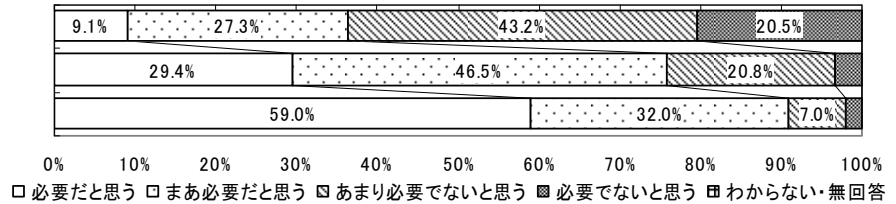
◆実社会での出世・収入に出身校が大きな影響



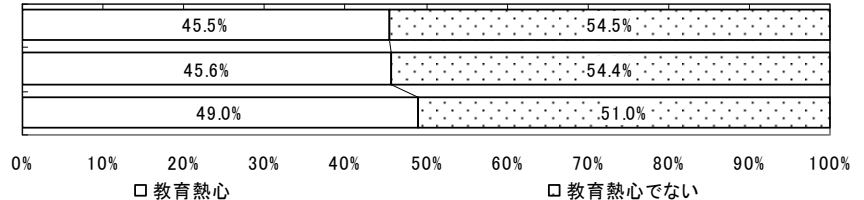
◆家庭の経済力によって、子どもの学力に影響



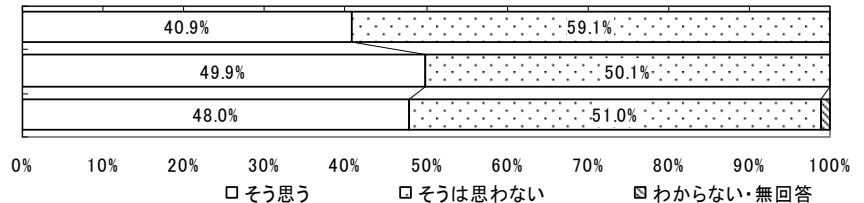
◆教育基本法の見直し



◆自分が教育熱心なタイプだと思う



◆競争を取り入れて個々の才能や学力に応じた指導が必要

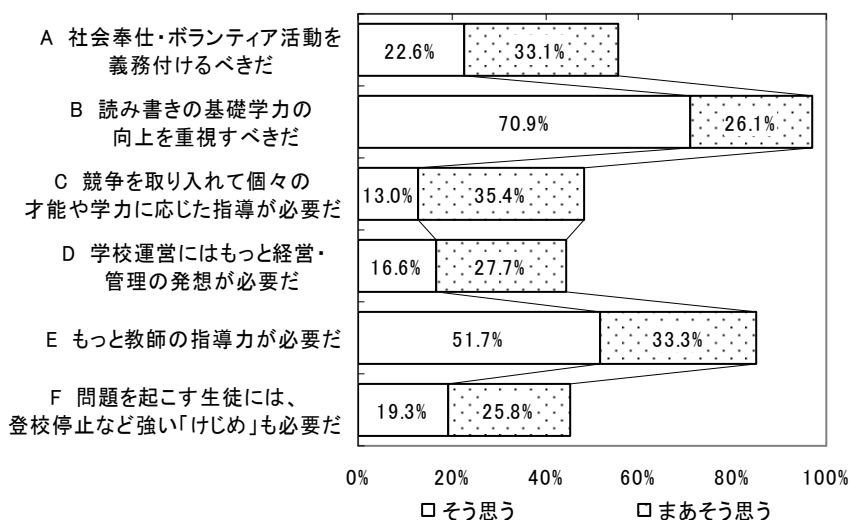


望ましい義務教育のあり方

◆「学力に応じた指導」48% 「経営の発想を」44%

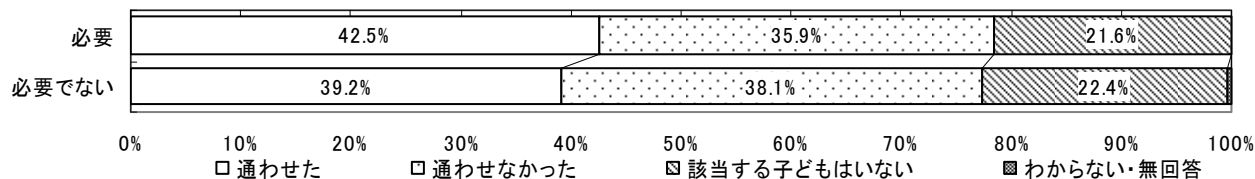
5つ挙げた中で、肯定的な受けとめが最も高いのは「読み書きの基礎学力の向上の重視」。積極的なスタンスだけで70%を突破。次いで「もっと教師の指導力が必要」が総体で85%に達する。「社会奉仕・ボランティア活動の義務付け」も過半数となった。

その一方で「競争を取り入れ、才能や学力に応じた指導が必要」は半数に届かず「学校運営に経営・管理の発想が必要」や「問題を起こす生徒に登校停止などの“けじめ”を」も40%台。総じて、教育現場での管理・競争的考え方の導入には否定的な受けとめの方が有力だ。

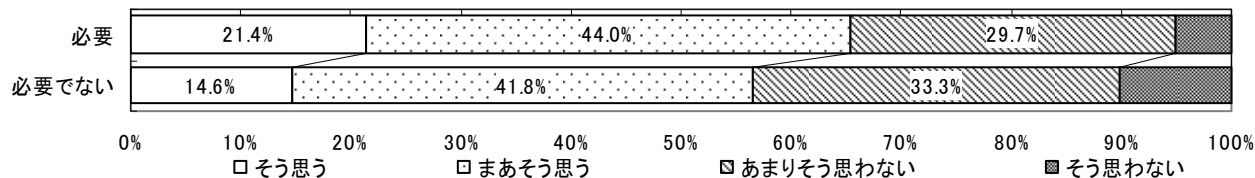


教育に競争と学力に応じた指導の是非でみると

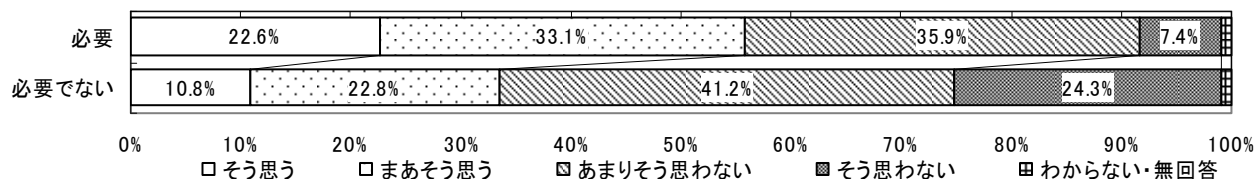
◆高校受験のため、塾などに通わせた



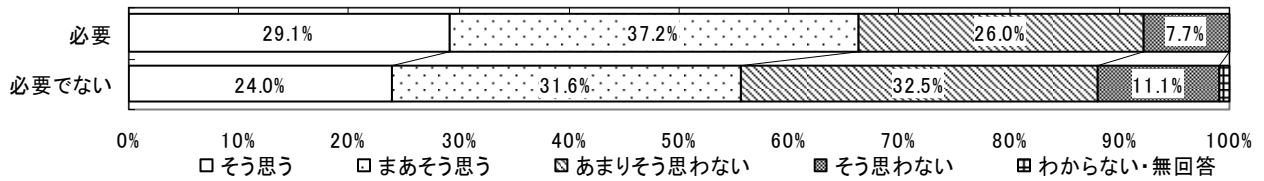
◆子どもの教育には、生活を切り詰めても金をかけるべき



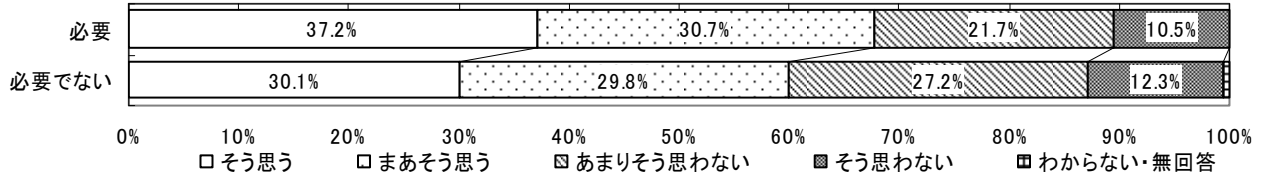
◆学校運営には経営・管理の発想が必要



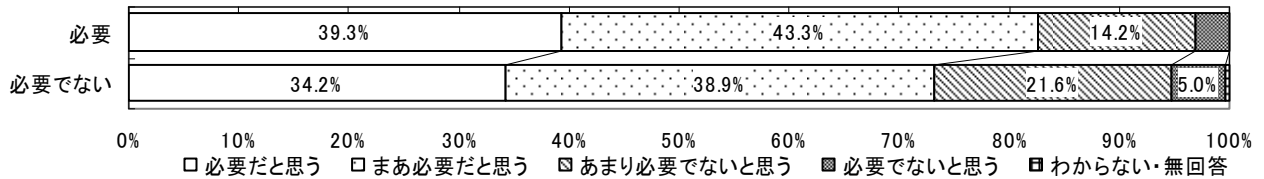
◆ 実社会での出世・収入に出身校が大きな影響



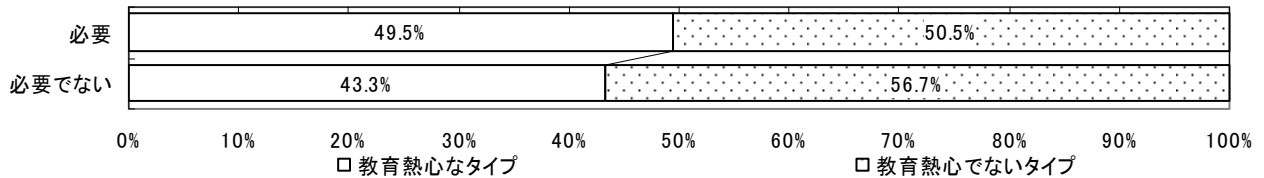
◆ 家庭の経済力によって、子どもの学力に影響



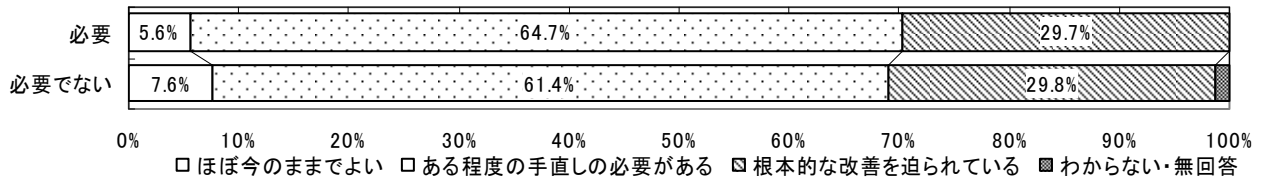
◆ 教育基本法の見直し



◆ 自分は教育熱心なタイプだと思う



◆ 日本の教育の全体的な方向



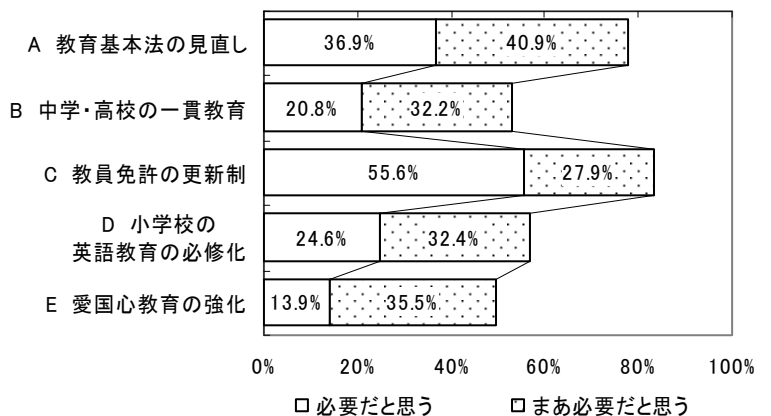
改善のための対策

◆ 教員免許の更新制 「必要だ」84% 若い層高め

5つ挙げた改善策のうち「必要だ」が総体的に高いのは「教員免許の更新制」で84%、次いで「教育基本法の見直し」の78%（この2点は、本調査の実施後に改正教育基本法と教育改革3法の成立で実現の方向となった）。しかし、教育基本法で新たに加えられた「愛国心教育の強化」については、ほぼ半数にとどまる。

また、導入が先行している「中学・高校の一貫教育」と「小学校の英語教育の必修化」は半数を超えた。

全体として、高齢層に積極的な受けとめが強まる中で「教員免許の更新制」には20～30代でも跳ね上がる。



IV 単純集計

問1 あなたは、教育や教育問題に関してどれくらい関心がありますか

	全体	男性	女性
非常に関心がある	19.2%	18.2%	20.1%
かなり関心がある	28.6%	28.2%	29.0%
少し関心がある	44.5%	43.3%	45.7%
あまり関心がない	7.6%	10.3%	5.2%
わからない・無回答	-	-	-

問2 あなたは、自分が教育熱心なタイプだと思いますか

	全体	男性	女性
そう思う	7.0%	6.0%	8.0%
まあそう思う	39.4%	38.6%	40.2%
あまりそう思わない	44.4%	45.8%	43.1%
そう思わない	9.1%	9.7%	8.6%
わからない・無回答	-	-	-

問3 あなたは、これまで自分の子どもに通園・通学以外にどのようなことを習わせましたか、あるいは習わせていますか（いくつでも）

	全体	男性	女性
スポーツ系の活動	50.8%	53.3%	48.6%
習いごと系の活動	45.3%	41.2%	49.0%
学習塾	43.9%	35.7%	51.0%
習わせていない (習わせなかった)	17.2%	19.6%	15.1%
わからない・無回答	0.5%	1.2%	-

問4-A 高校受験のため

	全体	男性	女性
通わせた・通わせている	40.6%	33.7%	46.6%
通わせなかった・通わせていない	36.9%	39.2%	34.9%
該当する子どもはいない	22.3%	26.7%	18.5%
わからない・無回答	0.2%	0.4%	-

問4-B 大学（4年制・短大）受験のため

	全体	男性	女性
通わせた・通わせている	21.8%	21.2%	22.3%
通わせなかった・通わせていない	43.9%	40.0%	47.3%
該当する子どもはいない	33.6%	38.0%	29.8%
わからない・無回答	0.7%	0.8%	0.7%

問5 あなたが、今までに出席したり、参加した学校関連の行事や活動があれば、すべて選んでください

	全体	男性	女性
運動会や学芸会などの学校行事	89.9%	84.7%	94.5%
授業参観・授業見学・懇談会	88.8%	83.5%	93.5%
PTA活動	76.2%	62.7%	88.0%
先生との面談・相談	74.4%	58.0%	88.7%
学校の役員活動	64.9%	47.5%	80.1%
学校外での活動 (体験活動や安全パトロール)	42.8%	32.2%	52.1%
部活動などの指導・応援	42.0%	38.8%	44.9%

学校の施設開放 (空き教室や体育館など)	18.6%	13.3%	23.3%
わからない・無回答	6.2%	7.5%	5.1%

問6 あなたは、子どもの教育には、親として生活を切り詰めても金をかけるべきだと思いますか

	全体	男性	女性
そう思う	18.0%	20.4%	15.8%
まあそう思う	42.9%	42.6%	43.1%
あまりそう思わない	31.5%	28.8%	33.9%
そう思わない	7.6%	8.2%	7.2%
わからない・無回答	-	-	-

問7 あなたは、親として子どもに対する金銭的な支えは、どの程度の年齢まで行うのがよいと思いますか

	全体	男性	女性
高校卒業まで	13.0%	12.5%	13.5%
20歳の成人まで	18.9%	24.8%	13.5%
学業を終えるまで	57.7%	53.9%	61.2%
結婚するまで	5.8%	5.6%	6.0%
可能な限り長く	4.2%	2.8%	5.5%
その他	0.3%	0.3%	0.3%
わからない・無回答	-	-	-

問8 あなたご自身の小学生・中学生時代と比べて、最近の学校生活について良くなっていると思うことがあれば、すべて選んでください

	全体	男性	女性
設備・備品	80.1%	77.4%	82.5%
校舎	68.4%	68.0%	68.7%
給食	67.9%	63.0%	72.4%
修学旅行	47.4%	44.5%	50.0%
通学	26.5%	23.2%	29.6%
学校の行事	23.1%	19.1%	26.7%
学校の管理	21.4%	16.3%	26.1%
授業	19.5%	16.9%	21.8%
学校と保護者の関係	17.4%	15.0%	19.5%
先生と児童・生徒の関係	11.7%	9.7%	13.5%
友だちづきあい	10.0%	8.5%	11.5%
その他	0.4%	0.9%	-
わからない・無回答	1.9%	2.5%	1.4%

問9-A あなたは、義務教育で特にはぐくんでほしいと思うのはどんなことですか・小学生(3つ以内)

	全体	男性	女性
友だちづくり・助け合い	70.3%	69.0%	71.6%
公德心・集団生活になじむ	49.6%	50.5%	48.9%
基礎的な学力	41.4%	37.6%	44.8%
読書・文章力	30.9%	28.8%	32.8%
自然に親しむ感性	27.7%	29.5%	26.1%
体力・スポーツ技能	26.8%	28.2%	25.6%
独立心・向上心	20.4%	20.4%	20.4%
自分に合った能力	9.7%	10.3%	9.2%
手作業・ものづくり	8.4%	10.0%	6.9%
社会への関心	3.6%	3.4%	3.7%
競争心・自己主張	1.9%	2.5%	1.4%
入試のための学力	0.6%	0.6%	0.6%
その他	-	-	-
わからない・無回答	0.9%	0.6%	1.1%

問 9-B あなたは、義務教育で特にはぐくんでほしいと思うのはどんなことですか・中学生(3つ以内)

	全体	男性	女性
独立心・向上心	47.5%	42.6%	52.0%
社会への関心	45.0%	40.8%	48.9%
基礎的な学力	34.3%	36.1%	32.8%
友だちづくり・助け合い	29.4%	26.6%	31.9%
体力・スポーツ技能	25.5%	24.8%	26.1%
自分に合った能力	22.3%	21.9%	22.7%
公德心・集団生活になじむ	20.5%	21.6%	19.5%
入試のための学力	17.4%	18.5%	16.4%
競争心・自己主張	16.3%	17.9%	14.9%
読書・文章力	15.4%	15.0%	15.8%
自然に親しむ感性	11.1%	12.9%	9.5%
手作業・ものづくり	3.3%	4.7%	2.0%
その他	0.1%	-	0.3%
わからない・無回答	1.2%	1.9%	0.6%

問 10 あなたの家庭で、しつけについて重きを置いているのは、この中ではどれでしょうか(いくつでも)

	全体	男性	女性
基本的な生活習慣	83.1%	78.4%	87.4%
責任感	69.4%	68.7%	70.1%
公共心や正義感	49.5%	47.3%	51.4%
寛容・協力性	45.4%	41.1%	49.4%
根気強さ	43.6%	41.4%	45.7%
自主性	43.2%	41.1%	45.1%
情緒の安定	32.7%	27.3%	37.6%
勤労意欲	32.1%	28.5%	35.3%
創意工夫	20.7%	20.7%	20.7%
わからない・無回答	-	-	-

問 11-A 社会奉仕・ボランティア活動を義務付けるべきだ

	全体	男性	女性
そう思う	22.6%	21.9%	23.3%
まあそう思う	33.1%	30.4%	35.6%
あまりそう思わない	31.8%	33.9%	29.9%
そう思わない	12.1%	13.8%	10.6%
わからない・無回答	0.3%	-	0.6%

問 11-B 読み書きの基礎学力の向上を重視すべきだ

	全体	男性	女性
そう思う	70.9%	65.8%	75.6%
まあそう思う	26.1%	30.7%	21.8%
あまりそう思わない	2.4%	3.1%	1.7%
そう思わない	0.1%	-	0.3%
わからない・無回答	0.4%	0.3%	0.6%

問 11-C 競争を取り入れて個々の才能や学力に応じた指導が必要だ

	全体	男性	女性
そう思う	13.0%	12.9%	13.2%
まあそう思う	35.4%	35.7%	35.1%
あまりそう思わない	40.6%	40.1%	41.1%
そう思わない	10.6%	11.0%	10.3%
わからない・無回答	0.3%	0.3%	0.3%

問 11-D 学校運営にはもっと経営・管理の発想が必要だ

	全体	男性	女性
そう思う	16.6%	16.0%	17.2%
まあそう思う	27.7%	27.3%	28.2%
あまりそう思わない	38.5%	39.2%	37.9%
そう思わない	16.0%	16.3%	15.8%

わからない・無回答 1.0% 1.3% 0.9%

問 11-E もっと教師の指導力が必要だ

	全体	男性	女性
そう思う	51.7%	48.9%	54.3%
まあそう思う	33.3%	34.5%	32.2%
あまりそう思わない	11.7%	13.2%	10.3%
そう思わない	2.8%	3.1%	2.6%
わからない・無回答	0.4%	0.3%	0.6%

問 11-F 問題を起こす生徒には、登校停止など強い「はじめ」も必要だ

	全体	男性	女性
そう思う	19.3%	23.5%	15.5%
まあそう思う	25.8%	27.6%	24.1%
あまりそう思わない	34.2%	28.2%	39.7%
そう思わない	20.5%	20.7%	20.4%
わからない・無回答	0.1%	-	0.3%

問 12-A 女性は結婚しても、職業を持ち社会に出るのが基本だと思う

	全体	男性	女性
そう思う	24.7%	21.3%	27.9%
まあそう思う	35.5%	34.8%	36.2%
あまりそう思わない	33.7%	37.0%	30.7%
そう思わない	5.8%	6.6%	5.2%
わからない・無回答	0.1%	0.3%	-

問 12-B 実社会での出世・収入に出身校が大きな影響を与えていると思う

	全体	男性	女性
そう思う	26.4%	29.2%	23.9%
まあそう思う	34.2%	33.9%	34.5%
あまりそう思わない	29.5%	27.9%	31.0%
そう思わない	9.4%	8.5%	10.3%
わからない・無回答	0.4%	0.6%	0.3%

問 12-C 日本の「年功序列」「終身雇用」の慣行は、それなりに大事だと思う

	全体	男性	女性
そう思う	20.5%	21.3%	19.8%
まあそう思う	42.1%	44.8%	39.7%
あまりそう思わない	29.7%	26.0%	33.0%
そう思わない	7.0%	7.5%	6.6%
わからない・無回答	0.6%	0.3%	0.9%

問 12-D 家庭の経済力によって、子どもの学力に影響が出てきていると思う

	全体	男性	女性
そう思う	33.6%	36.1%	31.3%
まあそう思う	30.3%	28.5%	31.9%
あまりそう思わない	24.4%	25.1%	23.9%
そう思わない	11.4%	9.7%	12.9%
わからない・無回答	0.3%	0.6%	-

問 13 あなたは、日本の教育の全体的な方向について、どのように考えますか

	全体	男性	女性
ほぼ今のままでよい	6.6%	7.5%	5.7%
ある程度の手直しの必要がある	62.8%	63.6%	62.1%
根本的な改善を迫られている	30.0%	28.5%	31.3%
わからない・無回答	0.6%	0.3%	0.9%

問 14-A 教育基本法の見直し			
	全体	男性	女性
必要だと思う	36.9%	35.1%	38.5%
まあ必要だと思う	40.9%	40.4%	41.4%
あまり必要でないと 思う	18.0%	19.7%	16.4%
必要でないと思う	4.0%	4.7%	3.4%
わからない・無回答	0.1%	-	0.3%

問 14-B 中学・高校の一貫教育			
	全体	男性	女性
必要だと思う	20.8%	20.7%	21.0%
まあ必要だと思う	32.2%	29.8%	34.5%
あまり必要でないと 思う	37.0%	38.9%	35.3%
必要でないと思う	9.1%	10.3%	8.0%
わからない・無回答	0.7%	0.3%	1.1%

問 14-C 教員免許の更新制			
	全体	男性	女性
必要だと思う	55.6%	55.8%	55.5%
まあ必要だと思う	27.9%	27.3%	28.4%
あまり必要でないと 思う	11.7%	11.3%	12.1%
必要でないと思う	4.0%	5.0%	3.2%
わからない・無回答	0.7%	0.6%	0.9%

問 14-D 小学校の英語教育の必修化			
	全体	男性	女性
必要だと思う	24.6%	22.9%	26.1%
まあ必要だと思う	32.4%	32.0%	32.8%
あまり必要でないと 思う	31.8%	32.0%	31.6%
必要でないと思う	11.1%	12.9%	9.5%
わからない・無回答	0.1%	0.3%	-

問 14-E 愛国心教育の強化			
	全体	男性	女性
必要だと思う	13.9%	15.0%	12.9%
まあ必要だと思う	35.5%	33.5%	37.4%
あまり必要でないと 思う	37.3%	36.4%	38.2%
必要でないと思う	12.9%	14.4%	11.5%
わからない・無回答	0.3%	0.6%	-

問 15 あなたは、親・大人として、子どもとの関係についてどのような立場にあるのが好ましいと思いますか			
	全体	男性	女性
どちらかといえば 子どもの自主性・自覚を重んじる	72.3%	71.8%	72.7%
どちらかといえば 親・大人の指導・監督を重んじる	27.4%	28.2%	26.7%
わからない・無回答	0.3%	-	0.6%

問 16 いくつかの大学で実施されている、スポーツやボランティア等で優秀な能力・実績のある生徒を受け入れる「一芸入試」について、あなたはどのように思いますか			
	全体	男性	女性
良いことだと思う	34.8%	32.6%	36.8%
まあ良いことだ	44.1%	42.9%	45.1%
あまり好ましくない	18.1%	20.1%	16.4%
好ましくない	3.0%	4.4%	1.7%
わからない・無回答	-	-	-

問 17 学校の推薦で合否が決まる高校や大学の「推薦入学」について、あなたはどのように思いますか			
	全体	男性	女性
良いことだと思う	27.4%	28.5%	26.4%
まあ良いことだ	46.9%	45.5%	48.3%
あまり好ましくない	21.4%	21.3%	21.6%
好ましくない	4.2%	4.7%	3.7%
わからない・無回答	-	-	-

問 18-A 長野県での大学進学のための条件はよくない			
	全体	男性	女性
そう思う	22.6%	22.3%	23.0%
まあそう思う	29.1%	28.5%	29.6%
あまりそう思わない	40.8%	43.6%	38.2%
そう思わない	6.4%	5.0%	7.8%
わからない・無回答	1.0%	0.6%	1.4%

問 18-B 大学で学ぶのは、県内よりも都会の方がよい			
	全体	男性	女性
そう思う	15.6%	16.6%	14.7%
まあそう思う	21.0%	20.7%	21.3%
あまりそう思わない	46.2%	45.8%	46.6%
そう思わない	16.6%	16.3%	17.0%
わからない・無回答	0.6%	0.6%	0.6%

問 19 あなたは、社会人になってから定期的に学習したり技能を身につける場（各種スクール、カルチャーセンター、大学の公開講座、専門学校など）に通ったり学んだことがありますか。経験したものをすべて選んでください

	全体	男性	女性
スポーツ・健康	38.7%	32.9%	44.0%
生け花や茶道・書道	27.1%	5.0%	47.4%
パソコン	25.8%	25.7%	25.9%
料理	19.5%	4.4%	33.3%
音楽や美術	11.7%	8.2%	14.9%
語学	11.4%	11.6%	11.2%
大学レベルの講座	6.3%	7.5%	5.2%
歴史（地域史）	3.4%	4.1%	2.9%
バレエ・フラメンコ・社交 などのダンス	3.3%	1.3%	5.2%
短歌、俳句などの 文芸	1.9%	2.2%	1.7%
その他	6.3%	2.8%	9.5%
通ったことはない・ 学びたいものはない	28.0%	39.8%	17.2%
わからない・無回答	0.4%	0.6%	0.3%

問 20 今の社会では、就職する場合、一般的に言ってどのようなことが重視されると思いますか（2つ以内）

	全体	男性	女性
特技・免許資格	45.0%	38.6%	50.9%
人間性	44.2%	48.3%	40.5%
熱意	24.4%	28.5%	20.7%
大学を卒業している こと	23.2%	21.0%	25.3%
健康・体力	18.3%	20.7%	16.1%
学校での専攻分野	16.2%	16.9%	15.5%
出身校	12.3%	10.3%	14.1%
学校での成績	9.4%	8.8%	10.1%
縁故	4.8%	4.1%	5.5%
その他	0.4%	0.6%	0.3%
わからない・無回答	0.1%	-	0.3%

V 調査票

★は前回からの継続質問

- 問1 あなたは、教育や教育問題に関してどれ位関心がありますか。
- ① 非常に関心がある ③ 少し関心がある
② かなり関心がある ④ あまり関心がない

- ★問2 あなたは、自分が教育熱心なタイプだと思いますか。
- ① そう思う ② まあそう思う ③ あまりそう思わない ④ そう思わない

- 問3 あなたは、これまで自分の子どもに通園・通学以外にどのようなことを習わせましたか、あるいは習わせていますか。すべて選んでください。(該当する番号の左側に○をお付けください)

- | | | | |
|--------------------------|------------|--------------------------|--------------------|
| <input type="checkbox"/> | ① 学習塾 | <input type="checkbox"/> | ③ 習いごと系の活動 |
| <input type="checkbox"/> | ② スポーツ系の活動 | <input type="checkbox"/> | ④ 習わせていない(習わせなかった) |

- 問4 あなたは、子どもに受験のために、学校以外の塾・予備校などに通わせましたか、あるいは通わせていますか。

- ★A 高校受験のため
- ① 通わせた・通わせている ③ 該当する子どもはいない
② 通わせなかった・通わせていない
- B 大学(4年制・短大)受験のため
- ① 通わせた・通わせている ③ 該当する子どもはいない
② 通わせなかった・通わせていない

- 問5 あなたが、今までに出席したり、参加した学校関連の行事や活動があれば、すべて選んでください。(該当する番号の左側に○をお付けください)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| <input type="checkbox"/> | ① 授業参観・授業見学・懇談会 |
| <input type="checkbox"/> | ② 運動会や学芸会などの学校行事 |
| <input type="checkbox"/> | ③ 先生との面談・相談 |
| <input type="checkbox"/> | ④ P T A活動 |
| <input type="checkbox"/> | ⑤ 学校の役員活動 |
| <input type="checkbox"/> | ⑥ 部活動などの指導・応援 |
| <input type="checkbox"/> | ⑦ 学校外での活動(体験活動や安全パトロール) |
| <input type="checkbox"/> | ⑧ 学校の施設開放(空き教室や体育館など) |

(全員の方にお尋ねします)

- ★問6 あなたは、子どもの教育には、親として生活を切り詰めても金をかけるべきだと思いますか。
- ① そう思う ② まあそう思う ③ あまりそう思わない ④ そう思わない

- 問7 あなたは、親として子どもに対する金銭的な支えは、どの程度の年齢まで行うのがよいと思いますか。
- ① 高校卒業まで ④ 結婚するまで
② 20歳の成人まで ⑤ 可能な限り長く
③ 学業を終えるまで ⑥ その他()

- 問8 あなたご自身の小学生・中学生時代と比べて、最近の学校生活について良くなっていると思うことがあれば、すべて選んでください。

- | | | | |
|--------------------------|---------------|--------------------------|-------------|
| <input type="checkbox"/> | ① 授業 | <input type="checkbox"/> | ⑦ 学校の行事 |
| <input type="checkbox"/> | ② 給食 | <input type="checkbox"/> | ⑧ 校舎 |
| <input type="checkbox"/> | ③ 修学旅行 | <input type="checkbox"/> | ⑨ 通学 |
| <input type="checkbox"/> | ④ 先生と児童・生徒の関係 | <input type="checkbox"/> | ⑩ 学校の管理 |
| <input type="checkbox"/> | ⑤ 友だちづきあい | <input type="checkbox"/> | ⑪ 学校と保護者の関係 |
| <input type="checkbox"/> | ⑥ 設備・備品 | <input type="checkbox"/> | ⑫ その他() |

★問9 あなたは、義務教育で特にはぐくんでほしいと思うのはどんなことですか。
小学生・中学生それぞれ3つ以内に絞ってお答えください。

		小学生	中学生			小学生	中学生
①	独立心・向上心			⑧	自然に親しむ感性		
②	読書・文章力			⑨	基礎的な学力		
③	公德心・集団生活になじむ			⑩	入試のための学力		
④	自分に合った能力			⑪	競争心・自己主張		
⑤	友だちづくり・助け合い			⑫	社会への関心		
⑥	手作業・ものづくり			⑬	その他 ()		
⑦	体力・スポーツ技能						

問10 あなたの家庭で、しつけについて重きを置いているのは、この中ではどれでしょうか。あてはまるものすべてを選んでください。

<input type="checkbox"/>	① 基本的な生活習慣	<input type="checkbox"/>	⑥ 情緒の安定
<input type="checkbox"/>	② 自主性	<input type="checkbox"/>	⑦ 寛容・協力性
<input type="checkbox"/>	③ 責任感	<input type="checkbox"/>	⑧ 公共心や正義感
<input type="checkbox"/>	④ 根気強さ	<input type="checkbox"/>	⑨ 勤労意欲
<input type="checkbox"/>	⑤ 創意工夫		

問11 あなたは、小学・中学校の義務教育のあり方をどのように考えますか。
次のA～Fについて、該当する番号に○をお付けください。

		そう思う	まあ そう思う	あまり 思わない	そう 思わない
A	社会奉仕・ボランティア活動を義務付けるべきだ	①	②	③	④
B	読み書きの基礎学力の向上を重視すべきだ	①	②	③	④
C	競争を取り入れて個々の才能や学力に応じた指導が必要だ	①	②	③	④
D	学校運営にはもっと経営・管理の発想が必要だ	①	②	③	④
E	もっと教師の指導力が必要だ	①	②	③	④
F	問題を起こす生徒には、登校停止など強い「けじめ」も必要だ	①	②	③	④

問12 あなたは、教育と人生のあり方について、どのように考えますか。
次のA～Dについて、該当する番号に○をお付けください。

		そう思う	まあ そう思う	あまり 思わない	そう 思わない
A	女性は結婚しても、職業を持ち社会に出るのが基本だと思う	①	②	③	④
★B	実社会での出世・収入に出身校が大きな影響を与えていると思う	①	②	③	④

C	日本の「年功序列」「終身雇用」の慣行は、それなりに大事だと思う	①	②	③	④
D	家庭の経済力によって、子どもの学力に影響が出てきていると思う	①	②	③	④

★問13 あなたは、日本の教育の全体的な方向について、どのように考えますか。

- ① ほぼ今のままでよい ③ 根本的な改善を迫られている
② ある程度の手直しの必要がある

問14 あなたは、日本の教育を改善するための対策について、どのように考えますか。

次のA～Eについて、該当する番号に○をお付けください。

		必要だと思う	まあ必要だと思う	あまり必要でないと思う	必要でないと思う
A	教育基本法の見直し	①	②	③	④
★B	中学・高校の一貫教育	①	②	③	④
C	教員免許の更新制	①	②	③	④
D	小学校の英語教育の必修化	①	②	③	④
E	愛国心教育の強化	①	②	③	④

問15 あなたは、親・大人として、子どもとの関係についてどのような立場にあるのが好ましいと思いますか。

- ① どちらかといえば子どもの自主性・自覚を重んじる
② どちらかといえば親・大人の指導・監督を重んじる

★問16 いくつかの大学で実施されている、スポーツやボランティア等で優秀な能力・実績のある生徒を受け入れる「一芸入試」について、あなたはどのように思いますか。

- ① 良いことだと思う ③ あまり好ましくない
② まあ良いことだ ④ 好ましくない

★問17 学校の推薦で合否が決まる高校や大学の「推薦入学」について、あなたはどのように思いますか。

- ① 良いことだと思う ③ あまり好ましくない
② まあ良いことだ ④ 好ましくない

問18 あなたは、長野県の高校・大学の教育のあり方をどのように考えますか。

A 長野県での大学進学のための条件はよくない

- ① そう思う ③ あまりそう思わない
② まあそう思う ④ そう思わない

B 大学で学ぶのは、県内よりも都会の方がよい

- ① そう思う ③ あまりそう思わない
② まあそう思う ④ そう思わない

問19 あなたは、社会人になってから定期的に学習したり技能を身につける場（各種スクール、カルチャーセンター、大学の公開講座、専門学校など）に通ったり学んだことがありますか。経験したものをすべて選んでください。

<input type="checkbox"/>	① 語学	<input type="checkbox"/>	⑦ バレエ・フラメンコ・社交などのダンス
<input type="checkbox"/>	② パソコン	<input type="checkbox"/>	⑧ 料理
<input type="checkbox"/>	③ 音楽や美術	<input type="checkbox"/>	⑨ 生け花や茶道・書道
<input type="checkbox"/>	④ 短歌、俳句などの文芸	<input type="checkbox"/>	⑩ 大学レベルの講座（※）
<input type="checkbox"/>	⑤ 歴史（地域史）	<input type="checkbox"/>	⑪ その他（ ）
<input type="checkbox"/>	⑥ スポーツ・健康	<input type="checkbox"/>	⑫ 通ったことはない・学びたいものはない

（※）経済学・文学・哲学・心理学などの専門分野

問20 今の社会では、就職する場合、一般的に言って、どのようなことが重視されると思いますか。2つ以内に絞ってお答えください。

- ① 大学を卒業していること
- ② 出身校
- ③ 学校での成績
- ④ 学校での専攻分野
- ⑤ 特技・免許資格
- ⑥ 人間性
- ⑦ 熱意
- ⑧ 健康・体力
- ⑨ 縁故
- ⑩ その他 ()

- F 1 性別 ① 男性 ② 女性
- F 2 年代 ① 20代 ④ 50代
② 30代 ⑤ 60代
③ 40代 ⑥ 70歳以上
- F 3 居住地 ① 北信 ② 東信 ③ 中信 ④ 南信
- F 4 市町村 ① ()市 ② ()町 ③ ()村
- F 5 職業 ① 事務系従事者 ⑦ 農・林・漁業
② 技術系従事者 ⑧ 専業主婦
③ サービス系従事者 ⑨ 有職主婦
④ 労務系従事者 ⑩ 学生
⑤ 役員・管理職・自由業 ⑪ 無職
⑥ 自営業 ⑫ その他 ()
- F 6 あなたは現在結婚していますか
① 結婚している ③ 結婚していない
② 結婚していない(未婚) (離別・死別)
- F 7 あなたの最終学歴 ① 中学校(旧高等小含む) ④ 4年制大学・大学院
② 高校(旧制中学含む) ⑤ その他 ()
③ 高専・短期大学・専門学校
- F 8 あなたのお子さんの数 ① ()人 ② 0人(いない)
→ F9、10へ → F10へ

- F 9 あなたのお子さんは、現在、次の①～⑦のうちどの年代ですか。
(在学または最終卒業校を下記から選び、①在学か②最終卒業に○を付けてください)
- ① 小学校入学以前 ④ 高校 ⑦ その他 ()
 - ② 小学校 ⑤ 高専・短期大学・専門学校
 - ③ 中学校 ⑥ 4年制大学・大学院

	在学または卒業	在学	最終卒業		在学または卒業	在学	最終卒業
第1子		①	②	第4子		①	②
第2子		①	②	第5子		①	②
第3子		①	②	第6子		①	②

- F 10 あなたの暮らしは、次のどれに近いと思いますか。
① 上の上 ② 上の下 ③ 中の上 ④ 中の下 ⑤ 下の上 ⑥ 下の下

- F 11 あなたが支持している政党は、次のどれですか。
- ① 自民党 ⑥ 国民新党
 - ② 民主党 ⑦ 新党日本
 - ③ 公明党 ⑧ その他の政党 ()
 - ④ 共産党 ⑨ 支持する政党はない
 - ⑤ 社民党